

調査報告 冬の調査①「越冬期2023」を1月に実施します

昨年に引き続き、水辺を中心とした越冬期の調査を1月に行います。実施場所は昨冬と同じところで、東京都本土部の全自治体に1か所以上、80か所余を設定しています。調査者は当会会員を始めとして、奥多摩支部の方や他団体の協力者など、総勢70余名です。この活動には皆さんにボランティアで参加いただいています。昨冬のように、『ユリカモメ』No.798・799(2022年6/7・8/9月号)の当レポートで報告しています。このような調査活動に興味をお持ちの方はメールでその旨ご連絡ください。【※】

冬の調査② 猛禽類のようすをお知らせください

タカやハヤブサ、フクロウなどの猛禽類の状況を調べています。この冬のようすをお知らせください。その際、場所・種類などは明示せず「研究部宛」とし、連絡先・お名前をメール・Fax・手紙でお知らせください。【※】

【※】連絡方法：メール：office@yacho-tokyo.org Fax：03-5273-5142

郵送など：〒160-0022 新宿区新宿5-18-16 新宿伊藤ビル3F 日本野鳥の会東京・研究部宛
担当者から折り返しご連絡し、詳しいお話・状況などをお聞きします。

調査報告 繁殖期2022・② トピックス

1. 23区内でのトビの繁殖

トビは多摩川や東京湾岸などで飛んでいる姿をよく見かけますが、その繁殖状況についてはよくわかっていません。とくに23区ではきちんとした記録がない鳥です。今回の調査で大田区が多摩川沿いの緑地で営巣していた巣でヒナの巣立ちが確認されました。

詳しくは、研究部ホームページの「研究部ブログ」2022年8月17日付をご覧ください。

2. ササゴイの繁殖

ササゴイは、かつては身近な水辺でも営巣記録のある夏鳥でしたが、1970年代以降激減しました。2010年代には23区内で2か所、多摩地区2か所の繁殖記録がありますが、今回も荒川に近い都内の水辺で繁殖が継続しているのが確認されました。巣立ちヒナたちは、くちばしに木切れをくわえ、水面を探るようなしぐさ繰り返していました【写真：川内 博氏撮影】 ササゴイは“撒き餌漁”や“釣り”といった珍しい採餌法が知られていますが、幼鳥のころからそれらしい行為が見られるようです。



3. カワウ・アオサギの営巣

カワウ・アオサギとも大型の魚食性水鳥で、かつては東京湾岸や多摩川沿いなどが営巣地として知られていましたが、最近はその営巣地が内陸部にも拡大しています。その典型的な場所が三鷹の井の頭公園。巣の場所は、井の頭水生園付近で、人通りの多い入口近くの頭上でも営巣していました。

東京湾のミヤコドリ・9 東京都江戸川区・葛西 その2

鈴木弘行

1. はじめに

ミヤコドリは三番瀬と葛西ではお馴染みの鳥ですが、全国的には珍しい鳥です。理由は分りませんが、東京湾奥部と伊勢湾西岸部の2カ所への渡来数が増加しています。

東京都のレッドリストでは絶滅危惧種Ⅱ類、千葉県のリッドリストでは最重要保護生物に位置付けられています。しかし、環境省のレッドデータブックへの記載はありません。掲載されてもいいと思われる鳥です。研究部では東京湾のミヤコドリについて調査・研究を続けています。【※】

2. 出現状況

葛西でのミヤコドリの出現状況は、月例探鳥会の記録から知ることができます。年々、個体数が増加していること、3月と4月の出現個体数が特に多いことが判っています。100羽以上が観察されることも稀ではありません。【グラフ】

2017年4月には300羽が観察されています。

3. カキ礁の発達とミヤコドリ

東なぎさと西なぎさは水路で隔離されていますが、水路のカキ礁が発達し大きくなっています。近年、この水路のカキ礁で採餌するミヤコドリを観察する機会が増えました。【写真】

カキ礁にはカキはもちろん、カニやエビ、魚の稚魚などもすむ生物多様性の高い場所です。三番瀬から葛西までの間には多くのカキ礁が発達しています。カキ礁の発達が、ミヤコドリの局地的な飛来と個体数の増加に関係しているのかも知れません。

4. おわりに

三番瀬では昨年、最大数が600羽を超えましたが、なぜ増加しているのか、なぜ局地的な分布をするのかなど、未解明なことがあります。日々の観察の中で、ミヤコドリについての新しい発見などありましたら、研究部へお知らせください。

※「東京湾のミヤコドリ・1」は、本誌No.737(2017年3月号)の研究部レポートに掲載。以後、No.743・744・747・769・770・773・786・794で報告しています。

月例探鳥会におけるミヤコドリ出現状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1995						※						
2000		※										
2005						※						※
2010												
2015												
2019												※
個体数	0	1~5	6~20	21~50	51~100	101~	未実施					
凡例							※					



水路のカキ礁で餌を探すミヤコドリ